

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			状況に応じて、パーテーションなどを活用している。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			人員配置基準は満たしており、現在の利用者数に対して適切な人員が確保できている。マンツーマンで指導員を付けている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関とトイレに3 cmほどの段差があるが、職員が必ずつきそっている。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			全職員が業務改善を進めるため(目標設定と振り返り)に参画している
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成30年11月にアンケート実施。令和2年2月にアンケートを実施。今後集計したものを職員間で共有し、改善につなげていく。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに載せている
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		実施していないため、今後検討していく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月1回は自社での勉強会を行う他、外部研修にも参加。全職員が強度行動障害(実践)を取得済み。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを半年ごとに行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		現在、標準化されたアセスメントツールは使用していない。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		活動プログラムの立案をチームで行っている
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		活動プログラムが固定化しないよう工夫している
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ひとりひとりのニーズに合わせて組み合わせている。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			デイサービス終了後、その日のうちに振り返りを行うのは難しいが、翌日には必ず行い気付いた点等共有できるようにしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い計画を作成、更新している。
関係機関や保護者との連携	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインの総則の基本活動のアとエを主に組み合わせ支援を行っている。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			その子供を最も理解している職員が参加している。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている。(学校との連絡便があります。)
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアが必要な利用者さんは現在該当者なし。てんかん発作の対応については、医師の助言を受けたご家族から、事業所へ内容を報告していただき対応している。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、3月末まで、どこの施設に行くか知らされず、通所が始まっているため支援内容等の情報を提供する等、できない状態である。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			助言や研修を受けている。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はない。ご家族が求めている。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			協議会等へ積極的に参加している
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		日頃から子どもの状況を保護者と連絡帳や直接会い伝え合っている。子どもの発達の状況や課題について共通理解を持てるよう努力をしている。
保護者への説明責任等	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			希望するご家族には行っている。
	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			主に管理者やわかりの深い職員が対応している。
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会等の開催は現状では行っていないが、要望があれば検討していく。
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設けており、苦情があった場合には窓口に連絡するように、契約時の重要事項説明書にて説明している。
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			現状では会報等は発行していない。
	㉕ 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報使用同意書で同意を受けている。個人情報がかかっている書類については、鍵付きのロッカーに入れ鍵は管理者が管理している。個人が特定できないように社員には周知している。
	㉖ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	○			子供たちへはマカトン法を利用している。保護者に関しては意思疎通のため文章や図などを作成し伝わるように努力をしている。また手話ができるヘルパーが数人在籍しているので、必要な場合は手話での意思疎通もできるようにしている。
	㉗ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図れるように、今後検討する。
	非常時等の対応	㉘ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○
㉙ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、その他必要な訓練を年に1度行っている。非常災害(地震、洪水、台風など)種類別に訓練を行っている。
㉚ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○			虐待を防止するため、3回/年に全体会議を行う他、外部研修機会に参加している。
㉛ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○			身体拘束は行っていない。
㉜ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		該当利用者はいない。
㉝ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○		ヒヤリハットの用紙は作成しているが、事業所内ではまだ発生していない。